

アプラス 会社説明

株式会社アプラス
<http://www.aplus.co.jp/>

2007年5月16日

FY06決算概要と 経営変革の実施状況

1. 経営変革の取組状況・・・P3
2. 決算主要計数・・・P4
3. 経営変革に伴う抜本的措置
 - コスト構造の抜本の見直し・・・P5
 - 事業モデルと収入構造の変革・・・P6
 - 財務体質の強化・・・P7

FY07の方向性

1. 事業モデルと収入構造の変革イメージ
・・・P8
2. FY07活動概要・・・P9
3. 生産性の向上と低コスト経営・・・P10
4. 業績予想・・・P11

経営変革の取組状況... 予定どおりの進捗

経営変革「3つの柱」

コスト構造の抜本の見直し

2007/3/31時点

2007年3月までに概ね完了

- 本部組織のスリム化・フラット化...39部室 22部室(単体)
- 営業拠点の集約...70拠点 39拠点(単体)
- 希望退職の実施...応募667名 従業員数1,517名
単体応募639名 従業員数1,275名
- クレジットコストの抑制
...与信基準の厳格化、貸倒引当基準の厳格化
...利息返還損失引当金の積増し(引当残高103億円)

事業モデルと収入構造の変革

主力事業の構造改革を先行

- 上限金利引下げ・特商法先取引の大幅見直し
- 取引先・取引条件の見直し着手
- 新生VISAカード募集開始

カルチャーの変革

継続的な取組

『お客さま中心』『提携先との共存共栄』『現場第一』

経営変革に沿った抜本処理

連結営業収益 1,114億円

(業績予想*1,134億円 / 前年1,012億円)

- ✓ 業績予想比マイナス20億円...
与信基準厳格化、取引条件見直し、
特商法加盟店見直しを先行
- ✓ 前年比プラス102億円...
全日信販の子会社化等

連結経常利益 149億円

(業績予想* 122億円 / 前年146億円)

- ✓ 業績予想比マイナス27億円...
営業収益の下振れ + 債権流動化
関連の引当等
- ✓ 前年比マイナス295億円...
貸倒引当基準の厳格化、
グレーゾーン引当金の積み増し

連結当期純利益 293億円

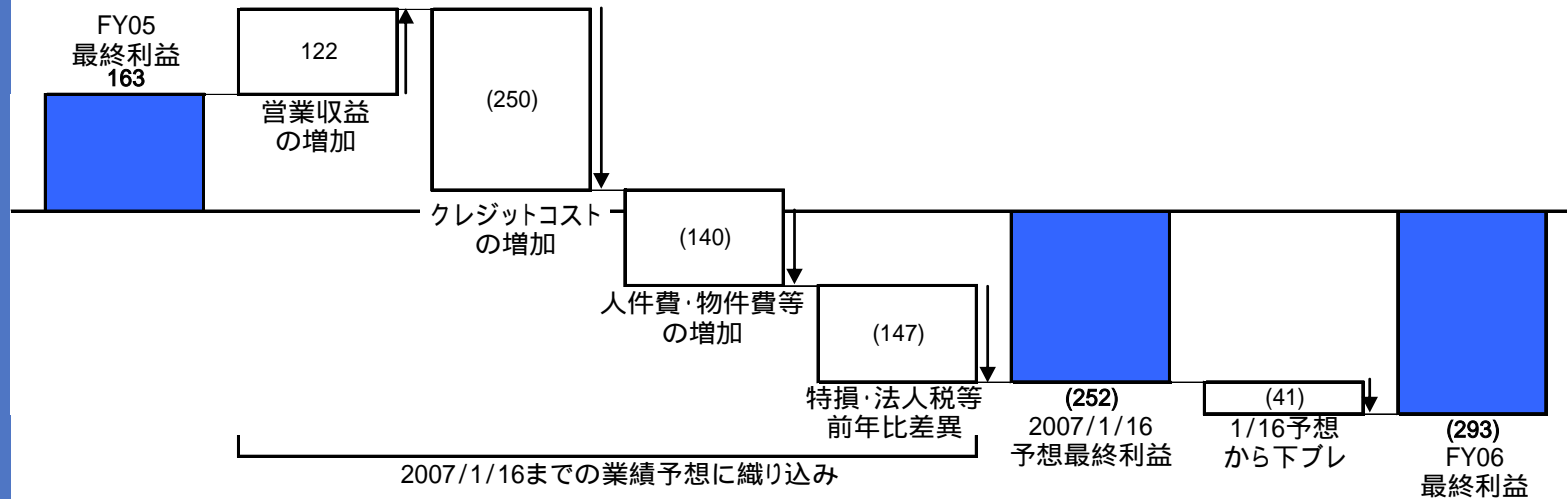
(業績予想* 252億円 / 前年163億円)

- ✓ 業績予想比マイナス41億円...
経常利益下振れ + 繰延税金資産
の取崩等
- ✓ 前年比マイナス456億円...
希望退職、実質破綻先の最終処理、
構造改革費用等

* 業績予想は2007年1月16日公表の修正業績予想数値

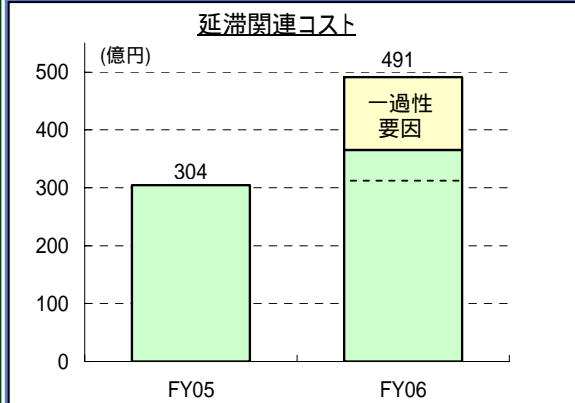
最終利益の推移(連結)

(単位:億円)



コスト構造の抜本の見直し

貸倒引当金の増加



(一過性要因)

- 引当基準の厳格化...70億円
- 債権流動化関連の引当...31億円
- 債権処分損...12億円
- 加盟店関連の引当...12億円

全日信販・延滞増加等...60億円

希望退職の実施

07年3月:667名の応募

特別退職金等 51億円

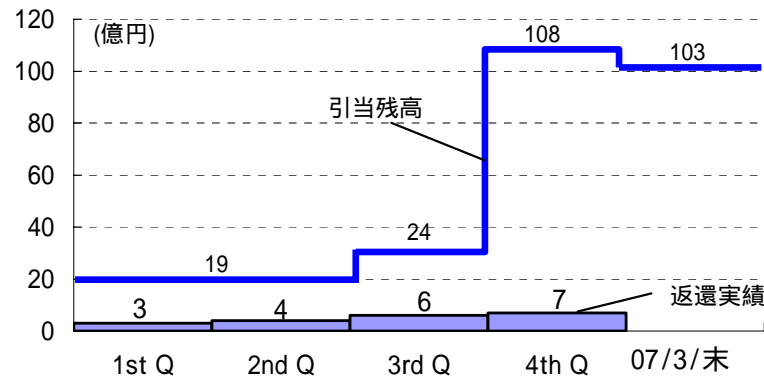
年間50億円の人件費削減効果

利息返還損失引当金の増加

1st STEP(06年9月 中間期)...引当残高24億円
日本公認会計士協会公表(2006年10月)の算定ルール適用

2nd STEP(07年3月 期末)...引当残高103億円
見積りの厳格化

グレーゾーン利息返還実績と引当金残高推移



保守的な見積りによる十分な引当水準の確保
前提...グレーゾーン金利の返還請求は08年度まで高水準で発生
引当水準...第4四半期の返還実績との単純比較でおよそ44ヶ月分程度

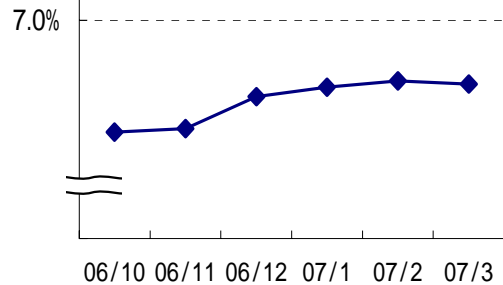
事業モデルと収入構造の変革

取引条件の見直し

ショッピングクレジット事業

個別の加盟店採算管理に基づき
レート引上げ交渉実施(06/12~)

オートクレジット平均金利推移



提携カード事業

不採算取引の改善

〔不採算取引の条件見直し〕

カード発行コスト / 更新コストの抑制
インセンティブの削減

取引先の見直し

特商法先加盟店の見直し

特商法の規制強化に対応し、
“お客さま中心”の考えのもと
加盟店との取引を見直し



加盟店ごとに総合的な見地
から取引を個別判断



将来リスクをヘッジ

上限金利の引下げ

ローン・キャッシングの金利引下げ

グレーゾーン以下への金利引下げスケジュール

新規会員	プロパーカード		07/4/1~引下げ
	提携カード	新規先	
既存会員	プロパーカード		~08年度末までに 段階的に引下げ
	提携カード		

狙い...優良顧客の囲い込み

) 新規会員

06/12与信基準の厳格化

入口で絞り込み

金利はグレーゾーン以下へ

) 既存会員

信用状況・その他要件を見極め

セグメントに応じ金利引下げ

財務体質の強化

FY06 実施済

- ✓ 07年3月 新生銀行の引受による第三者割当増資 200億円

FY07第一四半期 実施予定

- ✓ 07年6月(株主総会后) 資本金と資本準備金の減少、利益剰余金への振替
利益剰余金のマイナスを解消
- ✓ D種優先株式のみの配当実施

株主資本の推移(単体)

(単位:億円)

	06/3末	FY06				07/3末	FY07 1Q 実施予定			07/6末
		配当	増資	当期利益	他		減資等	振替	配当(上期)	
資本金	150		100			250	100			150
資本準備金	38		100			138	100			38
その他資本剰余金	442					442	200	218	20	404
利益剰余金	122	61		279		218		218		0
自己株式 他	0					0				0
合計	750	61	200	279	0	610	0	0	20	590

FY07は既存事業の採算化を強化しつつ、FY08～09の新規事業展開の基盤を整備

業界再編には積極的に参加する

FY07

FY08～09の基盤整備

FY08

構築した基盤の展開

FY09

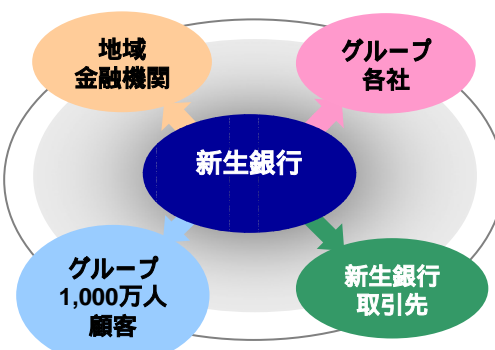
「リテールファイナンスのリーディングカンパニー」を目指す

経常利益120～160億円への復帰を目指す

- 取扱拡大
- パートナー数拡大

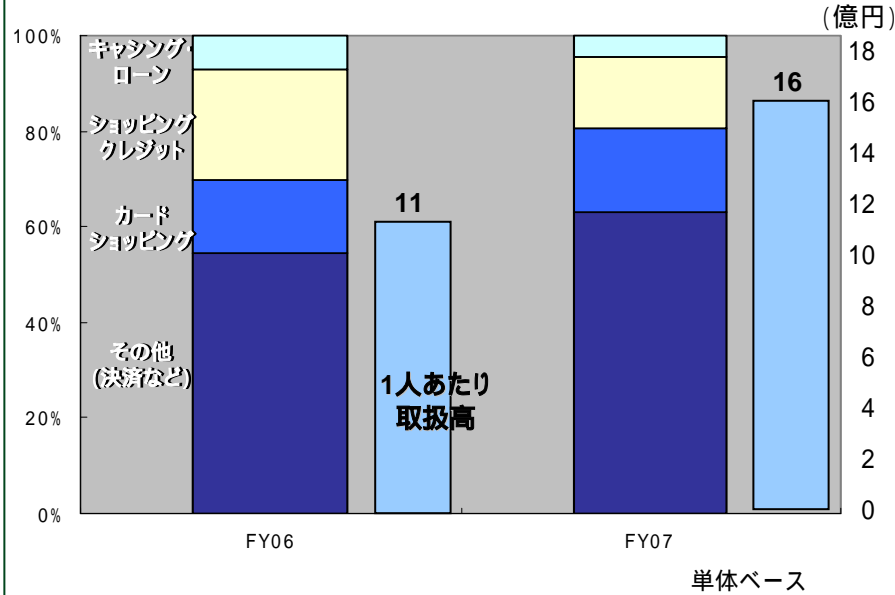
- APLUS Webを通じたCRM
- 「投資的開発」の汎用化
- 新事業導入

- 既存事業の採算性強化
- 新リスクモデルの導入とカード・ローン会員へのCRM展開
- 新生銀行との更なる商品・サービス展開

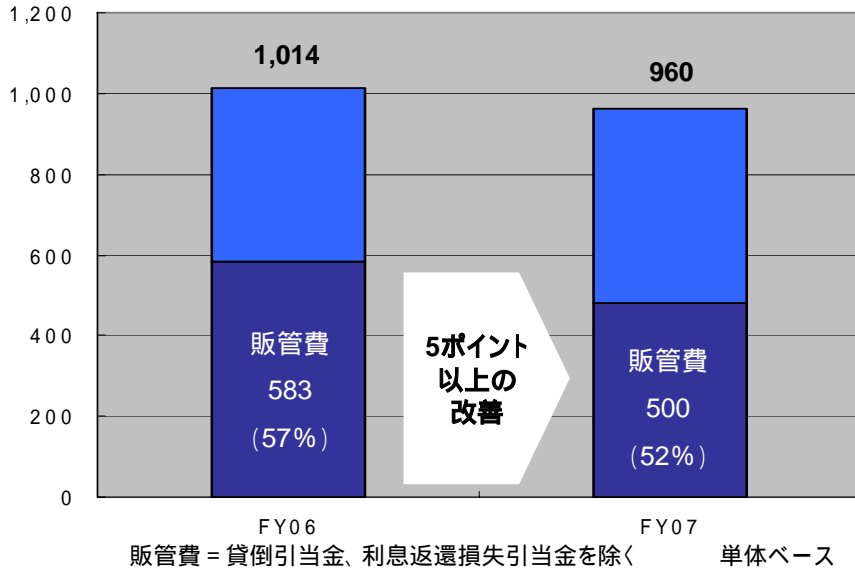
既存事業の採算性強化	新リスクモデルの導入と カード・ローン会員へのCRM展開	新生銀行との更なる 商品、サービス展開
<p>採算性の現状を詳細に把握し、積極展開、縮小などの方針、具体策を決定</p> <p><u>ショッピングクレジット</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な商慣習の見直し ・リスクに応じた金利設定商品の検討 ・営業事務の集約化など効率化を実施 <p><u>クレジットカード</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・提携カードにおいては不採算取引の改善を継続（取引撤退も視野） <p><u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定顧客への決済スキーム導入検討 	<p>新リスクモデル導入による優良顧客の獲得と囲い込み、債権の良質化を促進</p> <p><u>キャッシング・ローン</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・途上与信への新リスクモデルの定期的導入 - 5月より ・初期与信への新リスクモデルの導入開始(予定) - 7月より ・目的にあった顧客セグメントによる上限金利の引き下げ、利用促進策アプローチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新生VISAカード」や証貸、ローン保証などの“お客さま”向け商品・サービスの開発・提供 ・ローン保証強化のためのプロセシングスキームの確立 ・大型取引先向けショッピングクレジット受付システムの汎用化検討 <p>【グループ展開イメージ】</p> 

正しいIT基盤の検討と、管理回収体制の強化

事業別取扱高比率と従業員1人当たり取扱高の見込



営業収益と販管費の見込 (億円)



【ショッピングクレジット事業】

規制強化、法改正などにより取扱高は相応の減少見込

【カード・ローン事業】

カードSP取扱高は増加の見込、キャッシング、ローン取扱高は良質顧客への絞込みなどにより相応の減少見込

コア事業は不変であるも、ショッピングクレジット事業に頼る構造から脱却。

相応に取扱高の減少が見込まれるショッピングクレジットとキャッシング、ローンは、採算性の強化と債権の良質化により、利益率を向上

高い生産性と低コスト体質を維持、継続

4. 業績予想

FY07の方向性

FY08～09に向けた基盤を整備しつつ、FY07の利益を確保

連結

(単位:億円)

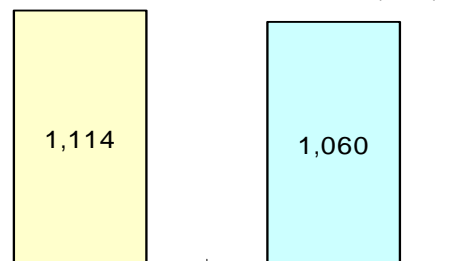
	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期	540	25	25	25
通期	1,060	60	60	60

単体

(単位:億円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	配当予想(円)
中間期	490	25	25	25	未定
通期	960	60	60	60	未定

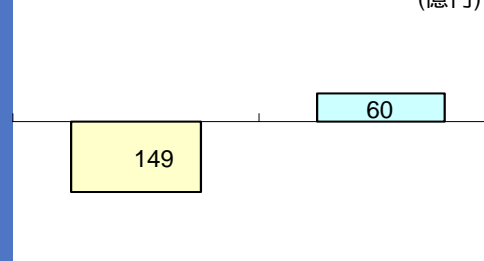
連結営業収益 (億円)



FY06
実績

FY07
予想

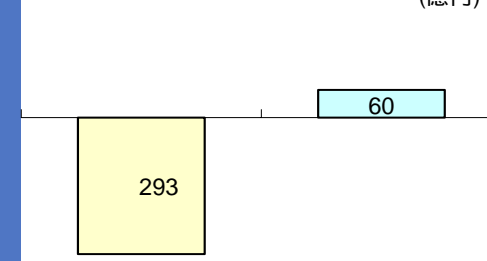
連結経常利益 (億円)



FY06
実績

FY07
予想

連結当期純利益 (億円)



FY06
実績

FY07
予想

**“経営変革”に沿った抜本的な処理を実施し、コスト面・
財務面での体質強化が完了**

**FY07は既存事業の採算化を強化しつつ、FY08~09の
新規事業展開の基盤を整備**

業界再編には積極的に参加する

本資料には、当社および当社の子会社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定は不正確であることがあり得ます。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、必ずしも今後の見通しに関する発表を修正するとは限りません。

本資料はいかなる有価証券の申込みもしくは購入の案内、あるいは勧誘を含むものではなく、本資料および本資料に含まれる内容のいずれも、いかなる契約、義務の根拠となり得るものではありません。

株式会社アプラス

<http://www.aplus.co.jp/>